



クローズアップ 自分で考える力と学ぶ意欲を育てる

キャリア教育

キャリア教育＝自らの力で生き方を選択していくことができるように、必要な能力や態度を身に付けること

キャリア教育を
レポートします！

回答企業 **435** 社 (2018年4月公表)

企業が学生に求める資質・能力・知識 (理系)

文系、理系で大きな差は見られず、「主体性」「実行力」が上位となった。理系では「創造力」も上位に入った。

▶ 主体性

1184 点

▶ 実行力

809 点

▶ 課題解決力

595 点

▶ 創造力

592 点

▶ 協調性

483 点

主体性とは、自分の意思や判断で責任を持って行動できること。つまり、自分で考えて行動する“力”があること。



「高等教育に関するアンケート主要結果」 (社) 日本経済団体連合会

キャリア教育の背景と いま求められる人材

「自分の力で生きするために必要な、能力や態度を身に付ける教育」として、平成23年に文部科学省がキャリア教育を定義付けました。

その背景には、情報通信技術や人工知能の発展による仕事の変化、若者の高い離職率などの要因があります。

日本経済団体連合会がまとめた報告によると、企業が学生に求める資質や能力の上位を、「主体性」「実行力」「課題解決能力」が占め、課題に気づき、その課題を解決する能力が求められていることが分かります。

都会と地方の「働き方」

2月15日、錦江中学校と田代中学校両校で、株式会社あしたのチーム西村マネージャーによる、キャリア教育講演会を開催しました。講演では、都会と地方での働き方や生活スタイルの違い、インターネットの普及による、今までになかった「新たな働き方」について学びました。

「皆さんの将来は誰かに決めてもらうのではなく、自分が将来なにをやりたいか考え、今やるべきことを実行することが重要です。そのような主体性のある人材を、私たち、あしたのチー

ムも求めています。」

西村マネージャーの話に生徒からは、「将来について考えるきっかけになった」「都市部と地方のそれぞれに良さがあり、仕事の選択肢が増えた」「地元にながら都市部の人たちと仕事ができることに驚いた」と、さまざまな意見が出されました。

これからの時代を「生きる力」

地元にながら、世界中の人と仕事ができるサテライトオフィスの働き方を、生徒たちに知ってもらいたいと講演を依頼した田代中学校の西校長。

「これから社会に出ていく生徒たちに、自分で考え実行する、生きる力を身に付けてほしい」と話します。

技術革新が進み、飛躍的に発展するこの時代を生きていくには、学力だけでは対応できない時代となつていきます。「課題解決能力」「コミュニケーション能力」「新たに創り出す力」など、時代や環境の変化に対応できる人材育成が求められています。



田代中学校
西 ゆかり 校長